

「歯科治療時の全身的偶発症に関する後ろ向き予備調査」の概要

一般に歯科治療は安全で安心して受けることができますが、非常にまれに全身的偶発症が起こっていると推測されます。私どもが調べた限りでは、全身的偶発症に関する大規模な調査はされておりません。歯科治療の安全を推進する観点から、実態調査を行い、それに基づいて対策を立てることが、社会的に重要なことであると考えております。そのためには、全国レベルの大規模な実態調査をする必要があります。本調査は、全国調査の前の予備的な調査として行い、全国調査の参考とすることが目的です。

本研究は、2つの県・市歯科医師会にご協力をいただき、無作為に抽出した会員の先生方（あわせて150名）に対して、それぞれの医療機関の診療録をさかのぼって調査していただき、平成25年の1年間の受診延患者数および全身的偶発症が発症した患者数について、収集、分析します。集められたデータは日本歯科麻酔学会の事務局で厳重に保管されます。

本調査では、症例数と偶発症の内容を集計するだけで、いわゆる個人情報扱いません。さらに、症例の連結不可能匿名化を図っており、施設名も特定できないよう配慮致しております。

なお、本調査は予備調査ですので、集計結果は公表いたしません。